

## 【様式4】

## 外部評価意見への対応方針

番号	年月	委員名	外部評価意見 (区政会議委員よりいただいたご意見)	対応方針	分類	平成30年度 運営方針への記載	平成30年度 予算または取組み への反映の有無
1	H29.6	笹原委員	「福祉マップ」の作成については、利用者側に立った作成をするように。	区民と協働で、利用者の視点に立った「福祉マップ」の作成、配布・周知方法等に取り組んでいく。	①	無	有
2	H29.6	久木委員	今後、多様な福祉ニーズに対応していくために、地域の実情に応じた住民主体の支援や取組みのための仕組みを区として構築できないか。	現在、市や区においては、さまざまな地域活動に対して支援を行っているが、地域の協力や地域との協働は不可欠であるため、これまで以上に地域と協力・協働できる施策や仕組みづくりについて検討していく。	②	無	有
3	H29.6	久木委員	要援護者の見守りネットワーク強化事業において民生委員と地域活動協議会の連携状況の確認と、コミュニティソーシャルワーカー(CSW)による地域との関わりを一層図るよう	CSWによる地域との関わりについては、徐々に地域の方々からお声掛けいただくことが多くなった。引き続き、地域の福祉活動に積極的に参加し、連携強化を図っていく。	① ②	有	有
4	H29.6	吉江委員	地域活動協議会が自らのホームページ等で補助金についての会計や決算などを公表する必要があるのではないか。	公表に至っていない地域活動協議会に対して公表の必要性を説明し、全地域の公表をめざして中間支援組織と連携し取り組んでいく。	① ②	無	有
5	H29.6	久木委員	地域活動協議会への支援については、アクションプランを作成し、目標を設定して行っていく必要があるのではないか。	各地域活動協議会の活動状況や運営上の課題などを各地域活動協議会、区役所、まちづくりセンターで認識共有し、自律した地域運営が図れるよう支援を行っていく。	① ②	有	有
6	H29.6	笹原委員	住民情報のモニター等を活用し、健康づくりに関する事業などの広報を行うことも効果的であるのではないか。	住民情報やエレベーター横モニター等を効果的に活用できるよう掲載内容等について検討していく。	①	有	有
7	H29.6	笹原委員	年間を通じて開催される食生活講座等を土日に開催できないか。	「プレママクッキング」を休日に試行開催し、参加者状況等の検証を行う。	①	有	有

番号	年月	委員名	外部評価意見 (区政会議委員よりいただいたご意見)	対応方針	分類	平成30年度 運営方針への記載	平成30年度 予算または取組み への反映の有無
8	H29.6	宮田委員	鶴見区内の保育所でも病児保育を実施して欲しい。	こども青少年局と連携し実施事業者を公募しているが、現在、応募がない。今後も応募してもらえるよう関係団体等と調整を進めていく。	③	無	有
9	H29.6	猿渡委員	児童虐待対応には関係機関の協力が必要である。	要保護児童対策地域協議会で情報共有し支援を行っている。今後も関係機関連携のもと児童虐待の予防、早期発見、早期対応に取り組んでいく。	①	有	有
10	H29.6	猿渡委員	居場所づくりを含めたこどもの貧困対策について、区役所がどう取り組むのか。	来年度実施に向け検討中である。また、区内で活動している団体の情報を収集し、情報発信に取り組んでいく。	②	無	有
11	H29.6	西岡委員	「幼稚園・保育所等情報フェア」の目的や内容を詳しく教えて欲しい。	保育ニーズ等が引き続き高い状況にある中、子ども・子育て支援法により利用者支援制度が導入されている。利用者と保育等施設のマッチングを進めることにより待機児童解消につなげる。	①	有	有
12	H29.6	西岡委員	「高校軽音ライブクリーンプロジェクト」の会場数を今後も増やしてはどうか。	現在の会場の見直しも含め、検討していく。	②	無	有
13	H29.6	宮田委員	小学生が英語活動に興味を持つような支援を行って欲しい。	英語教材の購入など小学校低学年から英語に親しんでもらうための支援を行っている。今後も学校や地域、保護者のニーズに沿った支援を行っていく。	①	有	有
14	H29.6	宗宮委員	「鶴見区防犯の日」一斉行動に鶴見警察署へ参加依頼をしてほしい。また、各種団体も参加するよう要請して欲しい。	鶴見警察署へ依頼し、参加および情報提供等の連携について確認した。各種団体へは各地域の実情を確認しながら働きかけていく。	①	有	有
15	H29.6	山下委員	防犯啓発活動に青色防犯パトロール車を活用してはどうか。	パトロール時、防犯に関する啓発の文言を入れたマグネットシートを貼るとともに放送を行っている。今後も幅広く啓発を行っていく。	①	有	有
16	H29.6	山下委員	スケアードストレート学習について、参加者の掘り起しが不十分である。また、動画配信等を行い広く周知してはどうか。	スケアードストレート学習時はこども会など各種団体に参加案内を行う。また、エレベーター横モニターなど情報発信が可能な媒体を活用し広く周知・啓発を行う。	①	有	有

番号	年月	委員名	外部評価意見 (区政会議委員よりいただいたご意見)	対応方針	分類	平成30年度 運営方針への記載	平成30年度 予算または取組み への反映の有無
17	H29.6	宗宮委員	駐輪場マップは放置自転車対策に有効に活用してほしい。また、区内民間駐輪場の掘り起しが必要ではないか。	駐輪場マップは放置自転車キャンペーン等で配布している。また、区内民間駐輪場はホームページで募集を行う他、区職員が確認作業を行っている。	①	有	有
18	H29.6	宗宮委員	区役所がリーダーシップを取って、災害発生時に災害時避難所となる学校の活用に取り組んで欲しい。	災害時に避難所運営の中心となる自主防災組織(避難所運営委員会)に対して、教室等の活用方法の提案を行うなど具体的な活用方法が検討できるよう学校・地域と連携し取り組んでいく。	②	有	有
19	H29.6	山下委員	災害時の備蓄物資について、協定事業所数を増やすとともに、あらかじめ配給方法、手段などを決めておく必要があるのではないか。	区としても区内事業所に対して防災協定締結の働きかけを行っていくとともに引き続き災害時協力貢献事業所・店舗の募集行い、備蓄物資の確保に努める。また、配給方法等の検討も行っていく。	①	有	有
20	H29.6	宗宮委員	区の防災力向上に大きな役割を果たしている「つるみんピック」の引き続きの取組みと、来場者増加の工夫をして欲しい。	「つるみんピック」がより一層実践的な内容となるよう、消防署と連携し継続して実施していく。また、事前周知等も行うなど来場者を増やす工夫を行っていく。	①	有	有
21	H29.6	宗宮委員	震災時に広報担当を置くなどし、広く情報発信をしていくべきではないか。	情報発信は鶴見区災害対策本部の役割の一つとして位置付け、職員訓練にも様々な情報発信方法を取り入れるとともに、体制づくりを行っていく。	①	有	有
22	H29.6	田中(潔)委員	これまでの環境に関するイベントにおいて、参加者が少なかったり、内容が少々高度で専門的すぎる時もあったのではないかと。身近な環境学習として、咲くやこの花館とコラボレーションして、園芸の講習会を実施してみるのはいかがでしょうか。	環境イベントについては、民間企業の協力を得て親子で楽しみながら環境の大切を感じてもらえる内容で実施しているが、今後とも多くの集客が図れるよう検討していく。また、今年度は咲くやこの花館と連携し、区主催のイベント内において、植物の寄せ植え講習会を実施した。	① ②	有	有
23	H29.6	大原委員	ペーパーレス化が進んでいるが、広報紙の内容をスマートフォン等で移動中にも閲覧できるようにできないか。	広報紙はホームページ上でデジタルブックとしても掲載している。平成29年7月からは、フェイスブックやツイッターで、広報紙の発行及びデジタルブックで閲覧できる旨お知らせし、閲覧できるリンク先を掲載している。	①	有	有

番号	年月	委員名	外部評価意見 (区政会議委員よりいただいたご意見)	対応方針	分類	平成30年度 運営方針への記載	平成30年度 予算または取組み への反映の有無
24	H29.6	岡本委員	広報紙を掲示板のあちこちに貼ってもらったら助かる。	広報紙は区内商業施設等7か所で掲示を行っている。また、区内61基の区広報板に「つるみっ子だより」を掲示している。今後も掲示場所等の拡大について検討していく。	① ②	有	有
25	H29.6	田中(潔)委員	動画の作成を一般の人に募ってみてはどうか。	動画作品については、法的課題(肖像権、プライバシー権保護等)があるので、まずは、IT知識を有する職員を募り、PRする事業担当課とともに動画作成していきたい。	①	無	有
26	H29.6	大原委員	SNSは情報発信量だけではイベントの認知度向上にはつながらない。タイトルや内容にインパクトが必要ではないか。	専門家の意見も聞きながら、発信するタイミング、タイトル、ヴィジュアル(視覚的)にインパクトのある情報を発信していく。	①	有	有
27	H29.6	猿渡委員	「つる魅力検定」の問題を、子どもたちに募集することで子どもたちが検定に興味を持つのではないか。	小学生を対象に問題を募集し、問題が採用された子どもに記念品を贈呈する。	①	無	有
28	H29.6	岡本委員	「つる魅力検定」(一般の部)を複数会場で実施してほしい。	新規事業につき実際の参加者数が未確定なため、今年度については1か所での開催としたい。	③	無	有
29	H29.6	猿渡委員	「つる魅力検定」の認定証(例 つる魅力士認定)を作成してはどうか。	工夫を凝らした認定証等の作成を検討する。	①	無	有
30	H29.9	久木委員	区の福祉事業の大部分を担っている区社協と区役所の関係及び補完状況の確認と、区社協は現在、事業等で地域に関わっているが、区役所もこれまで以上に地域と関わっていく必要があるのではないか。	区役所の地域活動支援課と保健福祉課で地域健康福祉戦略会議を設置し、まちづくりセンター・区社協・地域包括支援センターと情報共有・連携を図りながら事業実施をしていく。	①	有	有

番号	年月	委員名	外部評価意見 (区政会議委員よりいただいたご意見)	対応方針	分類	平成30年度 運営方針への記載	平成30年度 予算または取組み への反映の有無
31	H29.9	久木委員	現行、単年度の動きとなっているが、福祉に関しては、さまざまな課題や問題があるため将来的な目標を定めて動く必要があるのではないか。	大阪市として、高齢者福祉計画、障がい者支援計画、地域福祉の計画等があり、3～5年ごとに見直しを行っている。鶴見区でも市の計画を踏まえつつ、区の実情にあった鶴見区地域保健福祉ヴィジョンの策定を進めているが、今後も地域の実情に沿った見直しを行いながら進めていきたい。	②	無	有
32	H29.9	吉江委員	老人会や地域、ネットワーク委員、ふれあい員等が高齢化し、次の担い手がなかなかいない。このままではせっかくの良い仕組みが衰退し崩れてしまうため、区役所で担い手養成のための講座のようなものができるか。	健康づくりや食育など各種講座を実施し、受講者が地域のボランティアとして活動する取組みを行っている。また、住民主体のネットワーク活動推進事業において、あいまちの周知啓発の講演会をはじめ、各種講習会など地域福祉活動の担い手育成等のための事業も行っており、引き続き有効な啓発や講座の開催などを検討していきたい。	①	有	有
33	H29.9	正脇委員	健康づくりの取り組みは、健康な人にも参加してもらえよう企画が必要であり、継続してもらうためには、表彰制度や参加賞があるようなものが良いのではないか。	食育フェスタにレシピコンテスト等の企画を追加していきたい。また、「健康づくりポイント制度」等については、他都市や他区の取り組み事例を参考に検討する。	② ③	有	有
34	H29.9	猿渡委員	家庭事情や家庭環境により、いろいろなしんどさを抱える家庭もある、今後より一層、保護者と子どもに寄り添う家庭教育支援が必要になってくるのではないか。	平成30年1月～2月に、家庭教育支援講座を実施する予定であり、平成30年度は、学校・家庭・地域ぐるみで子どもの育ちを切れ目なく支えていくため、核となる家庭を支援できるような取組みを、学校・家庭・地域と連携を図りながら進めていきたい。	①	有	有
35	H29.9 H29.12	宗宮委員 松原委員	トランシーバーやMCA無線機を地域に配備するだけでなく、運用マニュアルを示すとともに、地域が活用できるよう取り組んで欲しい。	月1回実施のMCA無線機訓練に加えトランシーバーの運用マニュアルを作成し訓練を行っていく。また、災害時だけでなく平時の防犯活動時の使用についても各種会議などで伝えていく。	①	有	有
36	H29.9	宗宮委員	区役所職員の訓練実施時、地域防災リーダー等自主防災組織と連携できるよう訓練内容を工夫して欲しい。	平成30年1月17日に行う「大阪市震災総合訓練」は、大規模災害発生を想定したロールプレイングを実施するが、地域と連携した訓練内容となるよう検討する。	①	有	有

番号	年月	委員名	外部評価意見 (区政会議委員よりいただいたご意見)	対応方針	分類	平成30年度 運営方針への記載	平成30年度 予算または取組み への反映の有無
37	H29.9	宗宮委員	防犯カメラについて、新規設置中心ではなく耐用年数超えにより修理不能となったものについて、取替えを行うなどの対応が必要ではないか。	大阪市が行う子ども見守りカメラ設置も進められているため、区内の犯罪発生状況も勘案しながら、増設だけではなく、必要なところについては取替えも検討していく。	③	有	有
38	H29.9	山下委員	防犯灯設置について、町会を通じて設置ができる事を行政から広く区民に周知して欲しい。	広報紙やホームページ等を活用し、防犯灯設置補助制度について、広く区民に周知を行う。	②	無	有
39	H29.9	大原委員	イベント情報をインターネットで検索した場合に、検索結果に古い情報が表示される場合があるので、古い情報が表示されないようにすることはできないか。	広報紙のバックナンバーに掲載されている過去のイベント告知記事が検索キーワードに該当し、検索結果として表示されることがあるため、常に最新の情報が検索されるように、ホームページの更新に努める。	①	有	有
40	H29.9	田中(潔)委員	鶴見緑地等で実施しているイベントについて、同様の趣旨で実施しているものについてはコラボレーションすることも視野に入れて検討してはどうか。	鶴見緑地では、区役所以外にも様々な機関がイベントを実施している。今年度は相乗効果により、これまで以上の集客となるよう、こども教育担当と魅力創造担当が連携し、同日にイベントを開催した。今後も様々なイベントについて、積極的に他の主催団体等へも働きかけていく。	① ②	無	有
41	H29.12	山田委員	健康づくりには、喫煙や受動喫煙などの問題があるように思われる。たばこを止めると健康になるということを、広く周知してもらった方がよいのではないか。	平成29年度の区民まつりで、たばこの影響を周知啓発する取り組みを行った。今後も、喫煙者が禁煙の必要性を自覚し、実行に移す動機づけとなる事業を実施する。	① ②	有	有
42	H29.12	久木委員	地域共生社会を進めるためには、地域活動協議会と各福祉機関がどのように連携していくかを、区のビジョンに示す必要があるのではないか。	区役所や区社協など様々な関係機関がそれぞれの役割を果たし、地域活動協議会との連携が図れ、地域保健福祉の推進をめざす内容をビジョンに盛り込んでいきたい。	②	無	有
43	H29.12	久木委員	2025年問題で地域に時間に余裕のある人材が増えることが期待できる。今の要支援レベルの人を地域が支えることや地域を交えて進めることをもっと区のビジョンに入れるなど積極的なアプローチを考えてはどうか。	地域保健福祉ビジョンには地域、関係機関との連携について示していきたい。	②	無	有

番号	年月	委員名	外部評価意見 (区政会議委員よりいただいたご意見)	対応方針	分類	平成30年度 運営方針への記載	平成30年度 予算または取組み への反映の有無
44	H29.12	吉江委員	地域ケア会議に参加し、地域の中で対応困難な住民を排除することよりも取り込んで一緒に暮らしていくことが大事だと最近改めて気づくことができた。引き続きアドバイス等お願いしたい。	地域包括支援センターをはじめ関係機関や地域と連携し、地域福祉の推進に引き続き取り組んでいく。	①	無	有
45	H29.12	山田委員	長野県では、健康長寿をめざし食生活習慣を見直すことで、平均寿命がのびたという例もある。また、野菜を作るところから始めて、採れた野菜を使ってお料理をするというものがあればよいのではないかと。	食生活改善に向け、レシピコンテストのテーマや野菜づくり実施について関係団体と検討していきたい。また、「わたしのおすすめレシピ」を広報紙等で情報提供していきたい。	②	有	有
46	H29.12	山田委員	和歌山で健康体操の取組みにより医療費負担が減ったという事例もある。区社協で実施される介護の総合事業や町会単位の百歳体操など運動を取り入れた事業を積極的に実施していくべきではないかと。	地域で進めている百歳体操は実施箇所も増加傾向にあり、新しく始めたいという地域の要望もあるが、リーダーとなる人材が見つからないという課題があるため、地域の関係団体と協働し、担い手となる人材の育成を進めていきたい。	②	有	有
47	H29.12	猿渡委員	児童相談件数は減少しているが、虐待件数は横ばいの状況で、深刻なケースもあると思われる中、相談の窓口が明確にあり、職員が丁寧に対応しているということは区民からすれば非常に安心である。	虐待案件については、こども相談センターや鶴見警察とも連携しながら対応しているが、さらに相談者に寄り添った対応に努め、関係先とも連携を強めていきたい。	①	有	有
48	H29.12	田中(泰)委員	子育て支援室は、区内にある地域の子育てサロンとも連携を図ってほしい。	区内の子育て支援施設関係者等と区役所職員による月1回の子育て支援連絡会等を開催し、区内にある子育て支援施設等と連携を図っている。また、地域の子育てサロンへ保健師や保育士が出向き、育児相談等を行っているが、さらに連携の強化に努めていきたい。	①	有	有
49	H29.12	宮川委員	鶴見緑地の茶室「むらさき亭」で開催するおもてなし茶会について、小学生や保護者が参加しやすい内容するなど生涯学習の認知度アップに努めることが必要ではないかと。	おもてなし茶会にとどまらず、幅広い年代に向けた学びを提供できるよう関係団体等と連携を図りながら、生涯学習の推進と認知度アップに努める。	①	有	有
50	H29.12	前川委員	校長会や教育行政連絡会等で意見交換した内容を区政会議の部会で報告してはどうか。	教育行政連絡会等で意見交換した議事内容を、区政会議(こども教育部会)委員あてに発送するなど、情報共有を図っていく。	①	無	有

番号	年月	委員名	外部評価意見 (区政会議委員よりいただいたご意見)	対応方針	分類	平成30年度 運営方針への記載	平成30年度 予算または取組み への反映の有無
51	H29.12	岡出委員	地域内の小学校では防災訓練等を実施しているが、中学校で実施したことはない。また、訓練は地域単位で行っているが、実際災害が発生した場合、他地域からの避難者が想定されるため、その対応を含めた訓練を実施する必要があるのではないか。	災害発生時は中学校、高校も「災害時避難所」となるため、中学校、高校を使用した訓練も必要と考えている。防災訓練等の実施時には、隣接する地域が参加できるようにするなど、より実践的な訓練となるよう連携・工夫していく。	①	有	有
52	H29.12	東浦委員	防犯一斉行動が形骸化している。また、地域への周知も不十分であるため、実施方法等検討していく必要があるのではないか。	各地域の防犯推進委員との会議で現状等の把握を行い今後の実施方法などについて検討していく。また、日頃からの子ども見守り活動など地域が実施する防犯活動について広く周知していく。	①	有	有
53	H29.12	宮本委員	青色防犯パトロールの実施時間が区役所と地域で重なるため調整して欲しい。	地域で実施されている青色防犯パトロールの日時・場所を勘案して効果的に実施する。	②	有	有
54	H29.12	内野委員	災害時地域協力貢献事業所に対し、地域の防災訓練への参加を求める等、日頃からの連携を大切にすべきではないか。	災害時地域協力貢献事業所に対しアンケートを実施し、取りまとめ後は地域への情報提供するなど、災害時の活用方法について検討を行う。	①	有	有
55	H29.12	東浦委員	小学校などに設置されている防災行政無線は聞こえにくかったり、不明瞭である。	過去に大阪市が調査を行い移設・増設を行ったが、聞こえにくいスピーカー等については現地調査のうえ、設置者である大阪市危機管理室に伝えていく。	①	無	有
56	H29.12	久木委員	鶴見区のビジョンには区の独自性が必要ではないか。	各地域の特性を検証しながら、区の独自施策を含んだ内容になるよう検討していく。	②	無	有
57	H29.12	高田委員	現行のビジョンのどの部分をどう変更するのか、わかりやすく示す必要があるのではないか。	現行のビジョンと、改定後のビジョンの違いについても、わかりやすく説明できるよう工夫していく。	①	無	有

番号	年月	委員名	外部評価意見 (区政会議委員よりいただいたご意見)	対応方針	分類	平成30年度 運営方針への記載	平成30年度 予算または取組み への反映の有無
58	H30.1	前川委員	百歳体操を広めるためには、広報紙、ホームページ等での積極的な広報や区のイベント事業でのデモンストレーション等を実施し、広く周知していくことが必要ではないか。	百歳体操について、広報紙、ホームページ、チラシ等の広報媒体を活用し実施会場等を広く周知するとともに、イベント時に体験コーナーの開設や、PR用動画の作成・配信等により、参加者のすそ野を広げていきたい。	① ②	有	有
59	H30.1	田中(潔)委員	百歳体操だけを実施するより、地域のふれあい喫茶や手芸教室等を合わせて開催する方が参加しやすいのではないか。	未実施の地域で新たに百歳体操を始めてもらうために、既存の事業等と合わせて実施する手法があることも提案していく。	① ②	有	有
60	H30.1	久貝委員	生涯学習ルーム事業以外に、生涯学習の取組みを自主的に活発に取り組んでいるものについても、小学校を利用できるようにして欲しい。また、こうした生涯学習の取組みの活動発表の場が欲しい。	自主的な生涯学習活動の小学校利用については、取組みが様々な形で行われていることや、場所・スペースの制約といった課題があるので、今後の検討課題とさせていただきます。ただし、自主的に運営されている生涯学習活動の発表の場については、区役所2階の区民ギャラリーのさらなる利用の促進を図る。また、区民センター等を利用した展示や舞台発表等の場所の提供についても幅広く検討していく。	②	無	有
61	H30.1	宮本委員	生涯学習推進員連絡会が開催しているおもてなし茶会のポスターが1枚だけ地域の掲示板に貼られており、回覧は実施されていない。経費との兼ね合いもあるだろうが、枚数等をふやすなど、さらに周知する必要があるのではないか。	幅広い世代に参加いただくためにも、チラシ等の増刷を検討するとともに、引き続きホームページやフェイスブックを活用するなど積極的な広報に努める。	②	有	有
62	H30.1	笹原委員	「子育て」「親育ち」だけでなく、おじいさん、おばあさんなどあらゆる世代を含めて、昔遊びや知恵の伝承など、みんなで育ちあう取り組みも大切だと思う。	30年度に予定している家庭教育支援講座では、子どもの育ちを切れ目なく支え、核となる家庭を支援できるよう、学校・家庭・地域等と連携を図り進めていく予定であり、みんなで育ちあうことの大切さや、つながりづくりについても、その中で啓発できるよう工夫していきたい。ご意見をふまえ、取組み内容について検討していく。	②	有	有

番号	年月	委員名	外部評価意見 (区政会議委員よりいただいたご意見)	対応方針	分類	平成30年度 運営方針への記載	平成30年度 予算または取組み への反映の有無
63	H30.1	猿渡委員	教育力や子育て力は家庭教育が基盤であるが、子どもに対してどう接しているのか悩む保護者も多く、ストレス耐性も弱くなってきており、学校現場も大変さを抱えているのが現状である。 生涯学習の観点や概念からの家庭教育の取組みは、重要で必要な取組みであると考えられる。	子どもが育つこと、また親自身が子育てを通じて成長すること、そんな「子育て」「親育ち」を支え、核となる家庭を支援できるようなまなびの機会を、乳幼児期～学齢期～青年期と切れ目なく提供できるよう、また、区役所としての「家庭教育」の取組みとなるよう、実施内容を精査しながら他課連携や調整を進めていく。 また、必要とされる人に届く「家庭教育」の取組みとなるよう、学校・家庭・地域等との連携を図りながら、実施方法や内容について検討し進める。	②	有	有
64	H30.1	田中(泰)委員	地域の防災訓練について、町会など身近な単位で実施するのも大事ではないか。	各地域において小学校を利用した防災訓練が行われているが、地域防災リーダーの協力も仰ぎながら、訓練メニューの提示をするなど町会などでも防災の取組みを広めてもらえるよう支援していく。	①	有	有
65	H30.1	高田委員	災害時地域貢献事業所制度と協力事業所について、広く周知し見える化をしてはどうか。また、地域の防災訓練への参加など、地域の防災訓練への参加など、地域との連携を図るべきではないか。	災害時地域協力貢献事業所については、現在ホームページで事業所名等の公表や、ステッカーの配付を実施しているが、今後作成する防災マップへ事業所名称等を記載するなど、協力いただいている事業所がよりわかりやすくなるよう工夫するとともに、個別具体の協力内容についても、公表の同意を得た事業所については公表していく。 また、制度を幅広く周知することにより、協力事業所数の増加を図る。 さらに、地域防災訓練への参加・協力についても働きかけを行い共助の取組みを進めていく。	②	有	有
66	H30.1	笹原委員	百歳体操などを広報紙1～2面に特集記事として掲載すれば効果的に周知できるのではないか。	広報紙は、限られた紙面の中で掲載すべき情報を選択し紙面づくりを行っているが、特集記事については、掲載場所を含めて検討する。	① ②	有	有

番号	年月	委員名	外部評価意見 (区政会議委員よりいただいたご意見)	対応方針	分類	平成30年度 運営方針への記載	平成30年度 予算または取組み への反映の有無
67	H30.1	久木委員	鶴見区将来ビジョンでは、市内で年少人口の割合が一番高いという特長をとらえ、施策の方向性を示すべきではないか。	子どもの割合が多いということを鶴見区の強味をとらえ、子ども達が将来さまざまな分野で参画できる社会をめざした鶴見区将来ビジョンとなるよう素案を修正する。	①	無	有

※分類

- ①当年度(29年度)において対応 ②30年度運営方針に反映または30年度に対応予定  
 ③30年度では対応できないが、今後引き続き検討 ④対応困難または対応不可  
 ⑤その他